学校番号	319

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「Agenda 家庭基礎」　（実教出版）						
副教材等	「最新　生活ハンドブック」（第一学習社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

消費生活、食生活、子どもの発達と保育、住生活に関する事柄を中心に、生活のさまざまな事象や課題について、実習や体験的な学習を通して考えます。科学的な理解に基づいた知識や技術を身につけるとともに、多様な考え方があることを理解し、自分の考えを形成して、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

a:人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている

b:生涯を見通し、家庭・地域・社会の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して実践を評価・改善し、考察した内容を根拠に基づいて論理的に表現することで課題を解決する力を身につけている。

c:さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自分・家族	・青年期に必要な自立について考える ・家族、家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解する	a:自分の生活課題を振り返り、自立について理解することができ、多様な課題を抱える家族・家庭の実態や課題について理解している b: 自分の生活課題などを通して社会課題を捉え、その社会課題の解決に向けて具体的に考え意見をまとめることができる c:多様な家族・家庭の実態や課題について関心を持ち、積極的に考える意欲がある	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返り
	衣生活	・人と被服のかかわり、衣服の主な機能について理解する ・衣服の材料と成り立ちについて理解する ＜洗濯表示かるた＞ ・被服製作実習 ＜刺し子の三角巾製作＞	a:衣服の機能や衣服気候を理解し、快適に過ごすための工夫ができる b: 製作実習などを通して、TPOや用途に応じた被服の選択ができ、好みのデザインを表現している c:自身や家族の衣生活を振り返り、基礎縫いや製作実習に積極的に取り組んでいる	定期考査 課題提出	定期考査 課題提出	観察 自己評価
	食生活	・栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について理解する ・食品の安全について理解し、正しい情報を取捨選択して自らの判断で食品の選択ができる力を身につける ・食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する 〈調理実習〉 通年で２～３回程度を予定	a: 五大栄養素に関する相互の関連性や食品に含まれる栄養素や食品の調理性を踏まえた実践的な技能を身に着けている b: 五大栄養素と日常の食生活の関連について理解を深め、健全な食生活を営むために情報収集し、適切な判断をすることができる c:自身や家族の食生活から課題を設定し、栄養計算や調理実習を行い、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている	定期考査	定期考査 ワークシート	観察

後期	高齢者	・高齢者の特徴を理解する 〈高齢者疑似体験〉 ・高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解する	a:高齢者の特徴や高齢者を支える社会制度について理解し、その制度等の利点、欠点についての知識を身につけている b: 高齢者の生活実態や課題、高齢社会の問題について考え、表現することができる c:体験学習やグループでの意見交換を積極的に行い、自身の高齢期の自分らしい生き方につなげて考えられる	定期考査	定期考査 ワークシート	観察
	子ども	・子どもの心身の特徴や発達について知る。 ・遊びの種類や形態を知り、子どもの発達を支える遊びの重要性を理解する 〈折り紙カレンダー製作〉 ・子どもの食事や衣生活、安全に関わることなど子どもの生活について理解する ・子どもの育つ環境や社会の現状や課題を理解する	a:子どもの心とからだの発達についてその過程を知り、発達に応じた援助の必要性を理解している b:子どもの育つ環境と社会の課題の解決方法を考え、表現することができる。 c:子どもへの日常的な応答・関わりについてその重要性に興味・関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を身につけている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	住生活	・人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する ・日本と世界の伝統的な住まいを知り、環境に配慮した住まいについて理解する ・安全で快適な住まいについて理解する 〈ひとり暮らしの家探し〉	a:人間らしく豊かな住生活をつくるとはどういうことかを理解している b: 住まいの安全・安心に関して理解できており、改善案を提案することができる c:自分にとってより良い住環境について積極的に考える姿勢がつくられている	定期考査	定期考査 ワークシート	観察

	消費・環境	・さまざまな契約について理解し、責任ある消費行動がとれる力を身につける ・消費者保護制度について理解し、消費者問題に適切に対応する力を身につける ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する 〈制服の一生すごろく〉 〈ライフサイクルゲーム〉	a:消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる b: 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについておおむね理解するとともに生活情報をおおむね収集・整理できる c: 自身の進路や職業も含めた生活設計に基づいて具体的にシミュレーションすることができる	定期考査	定期考査 ワークシート	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度